

家族農林漁業プラットフォーム和歌山（FFPW）は、国連「家族農業の10年」に連携し、和歌山県及び近隣地域での家族農林漁業の振興に力を尽くしてまいります。大幅な輸入依存と自給率低下などをもたらしている現在の日本の農業・食料政策を、真に家族農林漁業を基盤としたものに転換するために、まずは会員を増やしながら活動を展開してまいります。

ホームページ（<http://ffpw.net/>）にあります趣意書および規約をお読みいただきまして、私たちの活動にご賛同いただける方は、ホームページ上の入会フォームよりお申込みいただくか、下記内容をご記入のうえご提出ください。皆さまのご入会を、心よりお待ちしております。

● 会員の区分

- ① 団体会員 5,000円/年（1口以上）
- ② 個人会員 1,000円/年（1口以上）
- ③ オブザーバー ※1年間の期限付き。会費無料

● 賛同者一覧のHP掲載について

- ① 【個人】名前と団体名（肩書き等）を掲載する
- ② 【個人】名前のみ掲載する
- ③ 【団体】団体名のみ掲載する
- ④ 掲載しない

● お名前 \_\_\_\_\_ ● 団体名 \_\_\_\_\_

● メール \_\_\_\_\_ ● 電話（任意） \_\_\_\_\_

家族農林漁業プラットフォーム和歌山（<http://ffpw.net/>）  
 （事務所）和歌山有機認証協会 〒641-0014 和歌山市毛見996-2  
 TEL：073-499-4736 ※平日9:00～17:00  
 FAX：073-499-4735 E-mail：ffpw2028@gmail.com



家族農林漁業プラットフォーム和歌山  
 (FFPW: Family Farming Platform Wakayama)

入会のご案内

# 「国連 家族農業の10年」

(2019~2028年)

みなさんをご存知でしょうか？「全世界の食料の約8割が家族農業を営む人びとによって生産されている」ということを。また「世界の貧困人口の約8割が家族農業を営む人びとで占められている」ということを。

なぜ、家族農業を営む人びとが貧困に陥ってしまうのでしょうか？そして、このアンバランスな状態が続けば、将来の食料の確保はどうなっていくのでしょうか？国連で「家族農業の10年」が制定された大きな理由がここにあります。

気候危機の中にある今こそ、家族農業が持つ価値を広く伝え、家族農業を営む人びとの暮らしや労働環境を、健全かつ永続的なものに整え、次世代へと繋いでいかなければなりません。

## ● 家族農業って？

家族が経営する小規模な農業、林業、漁業（養殖）、牧畜で、労働力は家族のみ、または家族労働力を主に用いて、所得の大部分をその労働力から稼ぎ出しているものをいいます。

## めざすのは持続可能な地域社会！

県内の食料自給率を上げる。学校給食の食材に県産品を使う。健全な種子を次世代につなぐ。家族農業を営む人びとの暮らしを守る仕組みをつくる。県内自給率100%を目指す。これらを実現するために、私たちは行動していきます。

## 和歌山県の農業



和歌山県の農地面積はおよそ32,000ha。みかん、梅、柿の栽培量は全国一位を誇り、果樹王国と呼ばれる所以です。一方、米や麦・豆類など穀類の生産量は、47都道府県のうち40位以下、野菜はかろうじて30位台ですが、イモ類に至っては全国最下位と、このままでは先行きが不安です。FFPWは、日々の食卓に上る農産物の自給率向上と、安定供給をめざして活動します。



## 和歌山県の林業

日本の森林面積は国土の7割弱を占めますが、和歌山県は7割強と森林面積の多いところですが、山や森を守ることは、里を守り、河川や海の水を守ることに繋がります。FFPWは、和歌山の豊かな森林と林業を、次世代に繋ぐために活動します。

## 和歌山県の漁業



海に囲まれた紀伊半島に位置する和歌山県は、魚介の美味しいところとして知られています。しかし近年では、海水温の上昇による不漁や漁獲資源の減少が深刻です。美しい海や河川、漁業を続けられる環境を、次世代に引き継ぐために活動します。

【家族農林漁業プラットフォーム和歌山：FFPW】

共に考えていきたいという方は裏面へ ⇒